

FUJITSU Workstation CELSIUS

CELSIUS H970

BIOS セットアップメニュー 一覧

Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel SpeedStep、Thunderbolt、Thunderbolt ロゴは、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
NVIDIA、Quadro は、NVIDIA Corporation の登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

BIOS セットアップメニュー詳細

BIOS セットアップのメニューについて説明しています。
BIOS セットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
情報 (→P.3)	BIOS やワークステーション本体についての情報が表示されます。
システム (→P.3)	日時や言語、ドライブの機能などを設定します。
詳細 (→P.3)	CPU や内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。
セキュリティ (→P.6)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
起動 (→P.8)	本ワークステーションの起動時の動作について設定します。
終了 (→P.9)	設定値の保存や読み込み、BIOS セットアップの終了などを行います。

重要

- ▶ BIOS セットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

POINT

- ▶ ユーザー用パスワードで BIOS セットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。
ユーザー用パスワードで BIOS セットアップを起動した場合に変更できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定項目	
システム	システム時刻	
	システム日付	
	言語 (Language)	
詳細	ディスプレイ設定	ディスプレイ NVIDIA(R) Optimus(TM) テクノロジー
	CPU 設定	マルチコア SpeedStep(R) テクノロジー
	各種設定	電源ボタン
		LAN によるウェイクアップ
		自動 Save To Disk
		音量設定
		ハードウェア省電力機能
		ハードウェア省電力機能： アイドル状態における CPU 省電力 (AC)
		ハードウェア省電力機能： アイドル状態における CPU 省電力 (バッテリー)
		USB 充電設定： パソコン電源オフ時の動作
		USB 充電設定： パソコン起動中の動作
		FAN コントロール
	Intel(R) Management Engine 設定	Intel(R) ME セットアップ Intel(R) AMT Fast Call for Help SQL コンソールタイプ
	イベントログ設定	イベントログの表示
セキュリティ	ユーザー用パスワード設定	
	ハードディスクセキュリティ	ドライブ n： ユーザーパスワード設定
終了	変更を保存して終了する	
	変更を保存せずに終了する	
	変更を保存する	
	変更を保存して電源を切る	

情報メニュー

BIOSやワークステーション本体についての情報が表示されます。設定を変更することはできません。

設定項目	備考
型名	
カスタムメイド番号	
製造番号	
BIOS版数	
EC版数	
CPUタイプ	
全メモリ容量	1MB=1024 ² バイト換算
メモリスロット1	1MB=1024 ² バイト換算
メモリスロット2	1MB=1024 ² バイト換算
メモリスロット3	1MB=1024 ² バイト換算
メモリスロット4	1MB=1024 ² バイト換算
MACアドレス	
UUID	
パネルID	

システムメニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
システム時刻 00:00:00~23:59:59	【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動 【Shift】+【Tab】キー……左の項目に移動
システム日付 01/01/2000~12/31/2099	【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動 【Shift】+【Tab】キー……左の項目に移動
言語 (Language) ☐ English (US) ☒ 日本語 (JP)	

詳細メニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
起動設定	
高速起動 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
互換性サポートモジュール ☒ 使用しない ☐ 使用する	・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「セキュアブート機能」が「使用しない」 ・「セキュアブート機能」が「使用する」に設定されている場合、本設定は「使用しない」に固定され変更不可
ネットワークサーバーからの起動 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
ネットワーク起動の Protokol ☐ 使用しない ☐ IPv4 ☐ IPv6 ☒ IPv4 and IPv6	下記の項目が次のように設定されているときに表示 ・「互換性サポートモジュール」が「使用しない」 ・「ネットワークサーバーからの起動」が「使用する」
ネットワーク起動の優先 Protokol ☒ IPv4 ☐ IPv6	下記の項目が次のように設定されているときに表示 ・「互換性サポートモジュール」が「使用しない」 ・「ネットワークサーバーからの起動」が「使用する」
ドライブ構成	
ドライブ0 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
ドライブ1 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
ドライブ2 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
ドライブ3 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
ドライブ4 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
ドライブ5 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
キーボード設定	
起動時の Numlock 設定 ☒ オン ☐ オフ	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
ディスプレイ設定	・ OS起動後はOSの設定に従う ・ 下記のいずれかの場合に表示 ◆「互換性サポートモジュール」が「使用する」 ◆ NVIDIA®グラフィックス搭載機種の場合
ディスプレイ ☐ 液晶ディスプレイ ☐ 外部ディスプレイ ☒ 自動	下記の項目が次のように設定されているときに表示 ◆「互換性サポートモジュール」が「使用する」
NVIDIA(R) Optimus(TM) テクノロジー ☐ 使用しない ■使用する	・ NVIDIA®グラフィックス搭載機種のみ表示 ・ 「使用しない」に設定した場合は、NVIDIAグラフィックスでの出力になります。
その他の内蔵デバイス設定	
シリアルATAコントローラー ☐ 使用しない ■使用する	
Audioコントローラー ☐ 使用しない ■使用する	
Bluetooth(R) ☐ 使用しない ■使用する	
内蔵LANデバイス ☐ 使用しない ■使用する	
無線LANデバイス ☐ 使用しない ■使用する	
指紋センサー ☐ 使用しない ■使用する	
内蔵カメラ ☐ 使用しない ■使用する	
SDスロット ☐ 使用しない ■使用する	
スマートカード ☐ 使用しない ■使用する	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Thunderbolt(TM) デバイス ☐ 使用しない ■使用する	
Thunderbolt(TM) ブートサポート ☒ 使用しない ☐ 使用する	・ 下記の項目が次のように設定されているときに表示 ◆「Thunderbolt(TM) デバイス」が「使用する」 ・ 本設定を「使用する」にした場合、USB-TypeC コネクタにデバイスを接続したままワークステーションを再起動すると、デバイスが認識されないことがある。その場合は、一度デバイスを取り外して接続し直す。
セキュリティレベル ☐ No Security ☒ User Authorization ☐ Secure Connect ☐ Display Port only	下記の項目が次のように設定されているときに表示 ◆「Thunderbolt(TM) デバイス」が「使用する」
強制電源オン ☒ 使用しない ☐ 使用する	下記の項目が次のように設定されているときに表示 ◆「Thunderbolt(TM) デバイス」が「使用する」
CPU 設定	
マルチコア ☐ 使用しない ■使用する	
HTテクノロジー ☐ 使用しない ■使用する	
SpeedStep(R) テクノロジー ☐ 使用しない ■使用する	
Virtualization Technology ☐ 使用しない ■使用する	
Intel(R) VT-d ☒ 使用しない ☐ 使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「Virtualization Technology」が「使用する」
Intel(R) TXT ☒ 使用しない ☐ 使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「Virtualization Technology」が「使用する」 ◆「Intel(R) VT-d」が「使用する」 ◆「セキュリティチップ」が「使用する」
Intel(R) SGX ☐ 使用しない ☐ 使用する ☒ ソフトウェア制御	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
USB設定	
レガシー USBサポート □使用しない ■使用する	「使用しない」時はFDDユニット（USB）からの起動不可
SCSIサブクラスサポート □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「レガシー USBサポート」が「使用する」 ※注1
USBポート □使用しない ■使用する	
XHCIコントローラー設定 ■標準モード □互換モード	
各種設定	
電源ボタン ■使用しない □電源オフ	ACPI対応OSでは無効
LANによるウェイクアップ ■使用しない □使用する	「使用する」設定時は、消費電力が増加するためACアダプタ使用推奨 ※注2
バッテリー運用時 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「LANによるウェイクアップ」が「使用する」
強制LANブート ■使用しない □使用する	
LANによるレジューム □AC接続時のみ ■常に有効	
自動Save To Disk □オフ ■オン	
音量設定 □オフ □小 ■中 □大	
ハードウェア省電力機能 □使用しない ■使用する	
アイドル状態におけるCPU省電力（AC） ■省エネルギー □低電力 □標準	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「ハードウェア省電力機能」が「使用する」
アイドル状態におけるCPU省電力（バッテリー） ■長時間稼働 □低電力 □標準	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「ハードウェア省電力機能」が「使用する」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
USB充電設定	
パソコン電源オフ時の動作 ■充電しない □充電する（AC/バッテリー） □充電する（ACのみ）	
パソコン起動中の動作 □通常充電 ■急速充電	
FANコントロール ■通常 □サイレント	
Intel(R) Management Engine設定	
Intel(R) MEセットアップオプション □使用しない ■使用する	
Intel(R) MEセットアップ >Enter	再起動後にME設定メニューに入る
USBプロビジョニング ■使用しない □使用する	
リモート・セキュア・イレース ■使用しない □使用する	
Intel(R) AMT Fast Call for Help >Enter	・再起動後に確認メッセージ表示 ・管理サーバーが設定されていない場合は使用禁止
Intel(R) ME設定のクリア >Enter	
SOLコンソールタイプ □PC-ANSI □VT-100+ ■VT-UTF8	

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
イベントログ設定	
イベントログ領域の状態	
イベントログ内容の状態	
イベントログの表示 > Enter	
イベントログ ☐ 保存しない ☒ 保存する	
イベントログの消去 > Enter	
イベントログのマーク > Enter	現在までのイベントログを既読に設定し、以降表示されないようにする

注1： 接続されているデバイスによっては、「使用する」に設定すると本ワークステーションが起動しなくなる場合があります。その場合は、デバイスを取り外して再起動してください。

注2： Windowsの高速スタートアップを無効にしてください。詳しくは、『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「Wakeup on LANを有効にする」をご覧ください。

セキュリティメニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
管理者用パスワード	設定状況を表示
ユーザー用パスワード	設定状況を表示
管理者用パスワード設定 > Enter	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード設定 > Enter	「管理者用パスワード」設定時に設定可能 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード文字数 0～32	「管理者用パスワード」設定時に設定可能
起動時のパスワード ☒ 使用しない ☐ 最初のみ ☐ 毎回	「管理者用パスワード」設定時に設定可能
自動ウェイクアップ時 ☒ 使用しない ☐ 使用する	・ LAN / タイマーなどによる自動ウェイクアップ時のパスワード要求有無を設定 ・ 下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 • 「起動時のパスワード」が「最初のみ」または「毎回」
取外し可能なディスクからの起動 ☒ 常に可能 ☐ 管理者のみ	「管理者用パスワード」設定時に設定可能
システムファームウェア更新機能 ☐ 使用しない ☒ 使用する ☐ 使用する（制限付き）	
起動メニュー ☐ 使用しない ☒ 使用する	【F12】キーによる起動メニュー呼び出しの設定
ハードディスクセキュリティ	
ドライブ0	設定状況を表示
マスターパスワード設定 > Enter	ハードディスクの「ユーザーパスワード」設定時に設定可能 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザーパスワード設定 > Enter	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
ドライブ1	設定状況を表示
マスターパスワード設定 > Enter	ハードディスクの「ユーザーパスワード」設定時に設定可能 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザーパスワード設定 > Enter	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ドライブ2	設定状況を表示
マスターパスワード設定 > Enter	ハードディスクの「ユーザーパスワード」設定時に設定可能 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザーパスワード設定 > Enter	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ドライブ3	設定状況を表示
マスターパスワード設定 > Enter	ハードディスクの「ユーザーパスワード」設定時に設定可能 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザーパスワード設定 > Enter	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ドライブ4	設定状況を表示
マスターパスワード設定 > Enter	ハードディスクの「ユーザーパスワード」設定時に設定可能 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザーパスワード設定 > Enter	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ドライブ5	設定状況を表示
マスターパスワード設定 > Enter	ハードディスクの「ユーザーパスワード」設定時に設定可能 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザーパスワード設定 > Enter	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
起動時のパスワード入力 □使用しない ■使用する	設定にかかわらず再起動時は要求なし

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
所有者情報	
所有者情報	
所有者情報設定 > Enter	
文字色 ■グレー 他	全16色から選択可
背景色 ■黒 他	全16色から選択可
TPM（セキュリティチップ）設定	
セキュリティチップデバイス TPM 2.0	
セキュリティチップ □使用しない ■使用する	設定変更は再起動後に有効
セキュリティチップのクリア > Enter	クリアは再起動後に実行
セキュアブート設定	
セキュアブート	設定状況を表示 ※注
署名情報の保護	設定状況を表示
署名情報の状態	設定状況を表示
セキュアブート機能 □使用しない ■使用する	本設定を「使用する」に設定すると、「互換性サポートモジュール」の設定が自動的に「使用しない」に固定され選択不可
署名情報のカスタマイズ > Enter	
署名情報の初期化 > Enter	
3rd-party UEFI CAの削除 > Enter	

注：Windows 10（UEFIモード）以外のOSから起動すると、「起動可能なデバイスが見つかりませんでした」、「セキュアブートに失敗しました。**アクセス拒否**」などのメッセージが表示されることがあります。
また、起動メニューから起動デバイスを選択したときに、「選択したデバイスから起動できませんでした」と表示されたり起動メニューが再表示されることがあります。

これらの現象が起きた場合は、「セキュアブート機能」を「使用しない」に設定してからOSを起動してください。

起動メニュー

設定項目	備考
起動デバイスの優先順位	
Windows Boot Manager	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「起動デバイスを変更する」を参照
Floppy Disk Drive	
Drive0 HDD	
Drive1 HDD	
Drive2 HDD	
Drive3 HDD	
Drive4 NVMe	
Drive5 NVMe	
NETWORK	
USB HDD	
USB CD/DVD	

終了メニュー

設定項目	備考
変更を保存して終了する	
変更を保存せずに終了する	※注1
標準設定値を読み込む	次の項目は対象外 ・言語設定 ・システム時刻 ・システム日付 ・高速起動 ・互換性サポートモジュール注2 ・Intel(R) MEセットアップオプション ・管理者用パスワード ・ユーザー用パスワード ・ハードディスクパスワード ・所有者情報 ・セキュアブート機能 ⇨『製品ガイド (共通編)』の「2章 BIOS」―「ご購入時の設定に戻す」を参照
変更前の値を読み込む	
変更を保存する	
変更を保存して電源を切る	

注1：確認画面で「はい」を選択すると、変更が保存されてしまいます。「いいえ」を選択してください。

注2：「セキュアブート機能」が「使用する」の場合には、「互換性サポートモジュール」設定が自動的に「使用しない」に固定され、「標準設定値を読み込む」は対象外となります。